

# コミュニティ・スクール モデル事業実施報告会

大田区立大森第二中学校

令和4年2月28日  
オンライン

# 大森第二中学校の特徴

- 学校経営方針

  - ☆対話が基盤 ☆納得する指導 ☆笑顔満開

- 教育研究推進校テーマ

  - ☆学校・家庭・地域の連携と実践共同体について  
～コミュニティ・スクールの実践から～

- NIE実践指定校

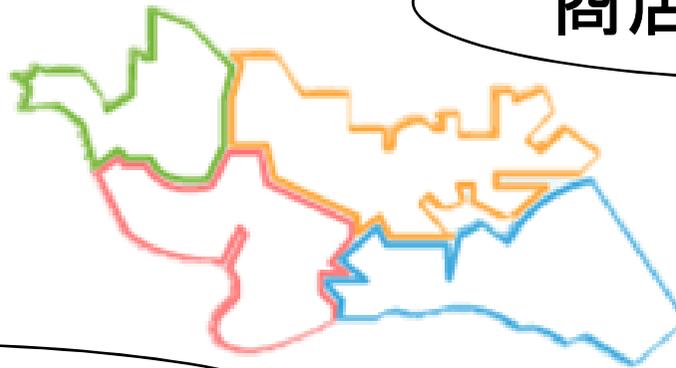
  - ☆新聞を活用した教育 ☆NIEロードを廊下に設定

(●学区域が広い・・・城南島、京浜島、令和島も学区域)

# 大森第二中学校付近・地域の特徴

新旧建物が多い

商店街が賑やか



古い町並みがある

数世代にわたり地域に住んでいる人が多い

# 学校運営協議会委員構成 (組織図・相関図等)



# 教育研究推進校として

## 「実践共同体」の概念について

あるテーマに関する関心や問題、熱意などを共有し、その分野の知識や技能を、持続的な相互交流を通じて深めていく人々の集団

### 経営ツールとしての社会的枠組み

- ①領域：共通の基盤、一体感
- ②コミュニティ：相互交流、豊かな関係、アイデア共有
- ③実践：特定の知識

# 大森第二中学校 学校運営協議会

- 第1回(4月7日)
  - ・学校経営方針の説明と承認
  - ・年間行事、施設状況、予算の説明
  - ・学校地域支援本部との連携について
  
- 第2回(7月7日)
  - ・1学期の報告(教育活動、支援本部)
  - ・予算執行状況
  - ・意見交換
  
- 第3回(12月8日)
  - ・2学期の報告(教育活動、支援本部)
  - ・学校自己評価について

# 大森第二中学校 学校運営協議会

- 第4回(2月9日) ・3学期の教育活動報告
  - ・学校自己評価について
  - ・学校運営上の課題について共有、意見交換
  
- 第5回(3月9日) ・次年度学校経営計画について
  - ・次年度教育課程について報告
  - ・次年度の学校運営協議会について

# 取組事例1 英検・漢検運営

※今年度、学校運営協議会において、学校が抱えている課題を共有し、学校地域支援本部が主体となって、動いていただいている。



検定試験受付業務



検定試験監督

- 受検率アップ
- 教員の働き方改革(定時以後の監督)
- 学校地域支援本部の運営資金(準会場運営手数料)

## 取組事例2 授業支援

家庭科：ミシン作業



音楽科：三味線教室



○地域人材の活用

## 取組事例3 職業人講話

○職場体験のサポートとして、社会で活躍している方々をお招きし、講話をいただく機会。



○令和3年度

- ・医師 ・警察官 ・新聞記者
- ・ジュエリーデザイナー

## 取組事例4 部活動支援

### ハンドメイド部:着付け作業



○地域の方々の力を借りて、普段できないことを体験する機会

## 取組事例5 開校記念プロジェクト

○大森二中の卒業生をお招きし、二中の歴史、二中付近の今昔を通し、講話をいただく機会。学校経営方針にある「地域の一員としての自覚」を育む教育活動である。

- 本校卒業生の講話
- 中学2年生対象



# コミュニティ・スクールモデル事業の成果（結果）

【モデル事業により得られたもの】

【学校や地域で起きた変化】

①地域の方々の「当事者意識」

⇒ 学校に気軽に声をかけていただく機会が増えた

②学校の「敷居が低くなった」

⇒ 様々な機会に学校へ来ていただく機会が増えた

③地域人材の「人脈が広がった」

⇒ いろんな方々が人材を紹介してくれる

# 課題

- ①地域の方々の**当事者意識**をどう高めるか？  
⇒ 学校運営に携わっているという意識
- ②教員側の**学校運営協議会**に対する**要望**が少ない  
⇒ 教員も地域と連携していく意識をもつ必要がある
- ③いろいろな人材活用をしていきたいが**時間が不足**  
⇒ **時間の制約**があり、活用にも限界がある
- ④**学校評価**への学校運営協議会の関わり方  
⇒ 基準の設定の難しさ、評価内容の要検討

# 今後の方向性

## 正式導入後の展開等

- ①会議の主催、議事録・協議会だよりの作成等  
⇒ 学校運営協議会が主体となって**広報**する体制
  
- ②地域学校協働本部との連携・機能強化  
⇒ 学校運営協議会との円滑な流れ、**相互交流**体制
  
- ③教員の**働き方改革**を踏まえた活動等  
⇒ 例)授業支援、部活動補助・支援、その他事業

# コミュニティ・スクール モデル事業実施報告会

大田区立大森第二中学校

ご静聴ありがとうございました